

平成30年8月栄町教育委員会定例会会議録

期日 平成30年8月29日（水）開会：午後2時 閉会：午後3時40分

会場 栄町役場2階第4会議室

教育長及び出席委員

教 育 長	藤ヶ崎 功
委 員(教育長職務代理者)	中 島 宣 行
委 員	大久保 雅 從
委 員	弘 海 千 鶴
委 員	石 川 京 子

欠席委員 なし

説明のため出席した職員

教育総務課長	池 田 誠
学校教育課長	大 野 真 裕
生涯学習課長	早 野 徹
給食センター施設長	亀 田 浩

職務のため出席した職員

教育総務課 課長補佐（書記）	由 井 茂
----------------	-------

傍聴人：1人

- 1 教育長開会宣言
- 2 議事の進行 中島宣行委員（教育長職務代理者）
- 3 署名委員の指名 大久保 雅從委員
- 4 会期 本日1日限り

5 教育委員の活動報告

藤ヶ崎教育長：

30年度 8月 「教育委員の活動報告」

月	日	曜	場所	活動名	内 容
7	31	火	安食小	視察	サマーわくドラ視察。弘海委員も視察されていました。
8	1	水	房総のむら	公開式典	浅間山古墳の展示品が完成し、生涯学習課長と除幕式に参加し、テープカットを行いました。
			役場	結団式	中学生海外派遣結団式に町長、議長と参加しました。12名の団員が英語にて自己紹介や抱負を述べていました。
	2	木	浦安市	視察	少年消防クラブ交流会全国大会に町長、団長とともに視察してきました。県内4クラブが参加し、全国9位、県内では優勝の浦安クラブに続いて2位となりました。
	3	金	役場	研修	リーダー研修会を行いました。
	4	土	栄白翠園	夏祭り	酒直台自治会の夏祭りに町長とともに参加しました。
	5	日	ふれプラ	鑑賞	栄市民ミュージカル「栄町興津の民話『鬼がきたきた福もきた』」鑑賞
	6	月	役場	会議	町教職員代表から次年度予算への要望書を受け取りました。
			町長室	挨拶	千賀の浦親方が来庁され、町長とともにお迎えしました。
	7	火	ふれあい広場	相撲見学	千賀の浦部屋夏合宿を視察しました。
			役場	研修	町学校教育振興会主催の夏季研修会に町長、教育委員とともに参加しました。
役場			会議	リバーサイドフェスティバル実行委員会に参加しました。	
成田市			説明会	成田空港記者クラブへの教育施策説明を行いました。	

		役場	防災会議	台風 13 号への対策会議に 3 課長とともに参加しました。
9	木	相模原市	観戦	中学校卓球関東大会男子団体戦の応援をしました。予選リーグを勝ち抜き、第2ステージで安田学園に惜敗し、その後の敗者復活戦 2 戦目、あと 1 セットのところで全国大会への切符を逃してしまいました。
16	木	成田空港	出発式	元気事業日本食研オーストラリア派遣団の出発式に参加し、見送りました。
17	金	旭市	会議	旭市小中学校長会の研修会に参加しました。
18	土	河川敷 G	お祭り	リバーサイドフェスティバルに、全委員で参加しました。
19	日	成田市	参観	県教委、成田市教委が後援している「首都圏進学フェア」が成田市を会場に開催され、参観しました。
20	月	日本食研	見学	町の合同家庭教育学級「IICS(イキイキスクール)」で、日本食研工場見学を行いました。弘海委員、石川委員とともに参加しました。
22	水	役場	会議	子ども議会に向けての調整会議を担当課長から、町長、副町長とともに行いました。
23	木	町民プール	視察	町民プールの開放事業の実態を視察してきました。
		役場	会議	教育委員会内課長会議を行い、定例会の内容を精査しました。
29	水	役場	定例会議	教育委員会会議定例会を開催しました。(報告 1 件、議案 1 件)

大久保委員：

リバーサイドフェスティバルに行って参りました。感想としまして、中学生のボランティアが良く活動していたのが見受けられました。

フィールドイベントでは、国土交通省の自然災害体験車、降雨体験車があり 3D で暴風雨体験をしてきました。災害体験してみると頭での理解と体験では違うもので、子ども達には、ぜひ体験してもらいたいと思いました。栄町は大きな河川があり洪水も想定されることから、防災教育はとても大事で、今回、まつり会場でそのような体験ができるイベントがあってよい企画だと思いました。

中学生の吹奏楽やステージイベント、花火など、全体的に大変よかった祭りでした。

サマーわくドラは8日間参加しましたが、教室にはエアコンが設置されていて快適な環境で学習ができていました。エアコンの設置は全国的には、あまり設置されていないようですが、当町は財政が厳しいですが子ども達のためにエアコンが設置されていてよかったと思いました。

弘海委員：

安食小学校のサマーわくドラに7月と8月の終わりに行ってまいりました。7月は夏休みに入って直ぐということで子ども達の参加率はよかったが、8月になると随分と参加者が減って、先生方やボランティア学生にも慣れて来て、敬語を使うことも少なくなり、兄さんお姉さんのような感じで仲良くやっていました。しかし、低学年の子どもを高校生が教えている様子を見ていると、子どもに手がかりすぎて、勉強よりも遊びの時間が多くなっていました。特に女子高校生ボランティアの先生は2人3人の男の子が遊んでいるのに注意がしにくくて、注意をしても聞かなかつたりしたので、そのような時は、高校生たちだけでなくその子達を良く知った先生なども入った方が勉強がしやすい学習環境になるのではないかと8月の終わりは特に思いました。

7月は担任の先生がいて下さっていたので、特に騒がしいこともなく勉強をしていましたが、8月はそれらのようなことも見受けられました。全体的には、子ども達は元気に勉強に取り組んでいて、「勉強が楽しい」と話していたので今後も続けて欲しいと思いました。

保護者の方からは、開催場所は、ふれプラよりも学校のほうが通いなれているので安心して送り出せるので、来年も学校で実施していただけるのであればお願いしたいとの意見がありました。

石川委員：

8月27日(月)に栄中学校のわくドラを見てまいりました。高校生に教えてもらっていた生徒たちは、とても静かに仲良く学んでいるような感じでした。解答が違っているところについては、よく説明をしていて、生徒1人につき高校生が2名がついていたのでよい環境で勉強が出来ているなと感じました。

市民ミュージカルについて、7月31日の東京新聞に取り上げられ、それを見たニッポン放送のライターが興味を示し、ミュージカルの代表者に連絡をとり、8月19日(日)の朝8時30分から薬師丸ひろ子の番組で5分間位放送されました。その放送では、何度も栄町という町名がでてきて、またミュージカル当日の様子や内容も詳

しく紹介されていてよかったので少しうれしい気持ちになりました。

議長中島委員：

リバーサイドフェスティバルに皆様と参加いたしました。ダンスコレクションでは、新潟県から参加したチームが優勝しましたが非常に上手なダンスでした。当日は若干涼しくて助かりましたけども、人も昨年度よりも多くて、ますます発展していただければと願っております。

6 案 件

報 告

報告第1号 栄町硬式テニス専門部第55回チーム対抗テニス大会の後援承認について

池田教育総務課長：

それでは、報告第1号をご説明いたします。平成30年8月8日付けで栄町硬式テニス専門部部長 永嶋 高夫氏から「栄町硬式テニス専門部 第55回チーム対抗テニス大会」について後援承認申請がありました。

行事の趣旨は、硬式テニスの普及・技術の向上を図りテニスを通じて町民の親睦と友好を深め、あわせて体力の向上と健康の維持増進を図るものです。

会場及び日程は、水と緑の運動広場テニスコートで10月14日（日）21日（日）予備日として10月28日（日）に行われるものです。

参加予定者数及び参加の方式は25チーム、クラス別でリーグ戦及びトーナメント方式となっています。行事の後援者として、栄町教育委員会を予定しております。

報告第1号につきましては、共催後援規程の趣旨に沿ったものでありますことから、教育長が専決処分したものでございます。

以上よろしく願いいたします。

7 議 事

(1) 議 案

議案第1号 平成30年度栄町一般会計教育費補正予算第2号について

池田教育総務課長：

提案理由です。別紙のとおり平成30年度栄町一般会計教育費補正予算第2号について、議会の議決を求めるべく栄町教育委員会行政組織規則第7条第3号の規定により町長に申し入れることについて、栄町教育委員会の議決を求めるものです。

補正要求額合計△3,645千円、歳出22,100千円です。

歳入については、水と緑の運動公園使用料、房総のむらテニスコート使用料、ふれあいプラザさかえ施設使用料、栄特別支援学校施設使用料で栄特別支援学校施設使用料以外については減額の補正となっております。

歳出については、教育総務課は、学校運営事業として小学校施設の修繕料、工事請負費1,373千円、中学校施設の修繕料1,373千円の補正となります。

学校教育課は、特色ある学校づくり推進事業として中学校卓球部の関東・全国大会出場に係る補助96千円、個に応じた授業改善推進事業として教育支援委員報酬48千円、豊かな心、健やかな体力づくり教育推進事業として、ゆうがく館で使用する消耗品49千円、備品451千円、学校音楽鑑賞教室著作権使用料5千円、学校音楽鑑賞教室実行委員会負担金486千円、給食センターの施設維持管理事業として給食センター排水処理施設修繕515千円の補正となります。

生涯学習課は、ふれあいプラザさかえ施設管理・運営事業として日々雇用職員の賃金72千円、ふれあいプラザさかえ施設改修事業として空調設備改修工事14,928千円、生涯スポーツ環境整備事業として栄特別支援学校の体育館使用の際の電気料負担金78千円の補正となります。

(資料にて説明)

以上です。ご審議をよろしくお願いいたします。

《審査結果》

承認

8 各課からの報告

教育委員会の点検・評価報告（案）について

それでは、平成29年度事業を対象とした、教育委員会の点検・評価報告についてご説明いたします。

今年度の点検・評価の結果としては、昨年度同様、施策シートにより各課で自己評価を実施しております。

12の施策の達成状況評価ですが、目標達成が6施策、ほぼ達成が5施策、目標に達していないが1施策として評価しています。

これから、2名の学識経験者による意見をいただき正式な報告書となりますが、今年度の学識経験者の方は、お一人は、昨年度もお願いしました、小島洋子氏（元学校長）です。町内の学校の先生も長年経験しております。

もう一人の方は、中澤一夫氏（団体職員）で、現在は、栄町社会福祉協議会会長を務めております。中澤氏は、長年、町の体育指導員を歴任し、生涯学習関係でご尽力をいただいております、今回、新たにお願ひしております。

以上の2名の方によりまして、ご意見をいただき施策シートの評価の検証をしていただきます。

そのため、評価をいただいた後に、若干の評価の変更があると思います。

なお、本日お渡ししています報告書には、学識経験者のご意見を受けての今後の取組が入っていませんが、記入後に、教育委員会議に報告し、12月の議会に提出する予定となっております。

それでは、内容について、各課より自己評価の説明をさせていただきます。

教育総務課、学校教育課、学校給食センター、生涯学習課の順で説明いたします。

（資料にて説明）

施策評価シート							
1. 施策の情報整理							
施策名	特色ある学校づくりの支援						
現状と課題	町の人口減少と共に少子化による児童・生徒数の減少が予測される中、子どもたちへの教育の重要性が増している。学校運営や教育活動においても学校と地域が一体となって教育を推進していく必要がある。						
施策の情報整理	目指す成果	小中学校ごとに望ましい学校教育のあり方を追求し、保護者や地域住民が参加した「特色ある学校づくり」を推進している。					
	成果指標及び実績	指標	現状値	平成28年度	平成29年度	平成30年度 (概 算) 目標値	目標数値の説明
		学校評価における保護者アンケート	93.8% (H25)	95%	95%	95%	
			88%	91%			
	施策全体の達成度 (★★★)	★★	目標を達成(100%) ★★★ 目標をほぼ達成(80%以上) ★★ 目標を達成していない ★ 現時点では判定できない ー	施策の事業費 (上段:最終予算) (下段:決算額)		23,484 千円 22,009 千円	
	達成度の理由	<ul style="list-style-type: none"> ・安食台小学校、栄中学校共に統合後の学校運営は円滑に行われている。また、スクールバスについても適正且つ安全に運行されており、児童生徒の通学時の安全は確保されている。 ・学校は学校評議員を通じて、地域住民の意向を反映した開かれた学校づくりを実践している。 以上のことから総合的に目標をほぼ達成したと判断した。					
設定成果指標以外に現れた成果の説明	統合により学校規模が適正になったことから、それぞれの特色を生かした学校づくりが更に進んでいる。						
外部環境の変化や住民ニーズの変化など、今後、課題と対応が予測されるもの	<ul style="list-style-type: none"> ・統合に係る児童生徒の心のケアの継続 ・各地域におけるふれあい推進員を含めたPTA組織・地域の活動力の維持 ・地域コミュニティースクールの導入について 						
住民との協働や他課の事業との連携	<ul style="list-style-type: none"> ・学校支援地域本部及びふれあい推進員等による放課後子ども教室等、学校と地域が一体となり、地域ぐるみで子どもをはぐむ体制が確立している。 ・通学路の危険個所の確認を、建設課、印旛土木事務所(国道・県道管理者)、成田警察署、印西警察署、地域ボランティア、各学校教員と共同して行った。 						
2. 事務事業の取り組み (単位:千円)							
事務事業名	平成29年度の取組実績	事業の評価(取組の課題及び今後の課題への対応)			事業費		
① 通学安全対策事業	<ul style="list-style-type: none"> ・統合により遠距離の通学となった児童生徒が安全に通学できるよう、スクールバスの運行継続。小中学校共に登下校時2便の運行 安食台小学校 <ul style="list-style-type: none"> 旧北辺田小学校区:マイクロバス 旧酒直小学校区:中型バス 栄中学校 <ul style="list-style-type: none"> 旧竜角寺小学校区:大型バス マイクロバス 旧酒直小学校区:中型バス ・運行委託(栄町シルバー人材センター) 	【取組への課題】 ・スクールバスの安全運行を確保する。			H27 決算	14,003	
		【課題を踏まえ今後の対応】 ・スクールバスの安全運行については、教育委員会、学校、栄町シルバー人材センターとの連絡調整を密にし、運行時間の調整、運行ルートの精査等を実施し、適正且つ安全な運行を行なっていく。 特に突発的な事故等への対応や賠償等が発生した事案については、栄町シルバー人材センターとの間で合意を図る。 また、通学路の安全を確保するため、バス運行の視点も加味した通学路点検を実施し、危険個所の確認を行ない安全対策を講じていく。			H28 決算	13,157	
		【課題を踏まえ今後の対応】 ・学校評議員の意見に対する学校の対応について、教育委員会が状況を把握し、必要な措置を講ずることで、保護者や地域住民の意向を反映した開かれた学校運営に努めていく。			H29 予算	13,284	
		【課題を踏まえ今後の対応】 ・交通安全指導の際、事故発生場所や発生形態についてより具体的に児童生徒に伝える。			H29 決算	12,513	
② 特色ある学校づくり推進事業	<ul style="list-style-type: none"> ・学校評議員設置業務 学校評議員を全校に配置した。 ・地域住民による学校支援推進業務 地域住民などによる教育活動の充実のための学校支援(ゲストティーチャーなど)の推進。 ・教育振興支援事業 学校教育振興会へ補助金を交付し、活動の支援。 ・学校安全指導業務 新1年生を迎えた1学期に各小学校で、交通安全教室の開催。 ・学校運営の支援業務 小学校に学校用務員(日々雇用職員)の配置 	【取組への課題】 ・学校安全指導業務を通じて交通安全指導を行っているが、小中学生の交通事故は発生しているため、指導を工夫していく必要がある。			H27 決算	9,124	
		【課題を踏まえ今後の対応】 ・学校評議員の意見に対する学校の対応について、教育委員会が状況を把握し、必要な措置を講ずることで、保護者や地域住民の意向を反映した開かれた学校運営に努めていく。			H28 決算	8,133	
		【課題を踏まえ今後の対応】 ・交通安全指導の際、事故発生場所や発生形態についてより具体的に児童生徒に伝える。			H29 予算	10,091	
③ 「栄っこ宣言」推進事業	<ul style="list-style-type: none"> ・「栄っこ宣言」にある、5つの行動規範を心の種として夢に向かってがんばり、ふるさと「栄町」を愛する心を育てていくため、小中学生全員に「栄っこ宣言」が印刷されたクリアファイルを学校行事や集会活動の際に配付し啓発した。 	【取組への課題】 ・町内にある幼稚園、保育園、栄特別支援学校、小・中学校の連携を視野に入れた取り組みを推進していく必要がある。			H27 決算	225	
		【課題を踏まえ今後の対応】 ・「栄っこ宣言」の唱和を全校で実施することで、具体的な行動へと発展させる。			H28 決算	81	
		【課題を踏まえ今後の対応】 ・「栄っこ宣言」の唱和を全校で実施することで、具体的な行動へと発展させる。			H29 予算	0	
					H29 決算	0	

施策評価シート

1. 施策の情報整理

施策名	きめ細かな学校教育の推進					
現状と課題	<p>栄町では、「教育」を進める上で、「知」「徳」「体」のバランスのとれた「生きる力」を育成している。学校・家庭と地域及び子どもたちどうしが「みんなで支え、共に伸びる教育」を学校教育の方向性として位置づけ、子どもたちが変化の激しい社会をたくましく生きていけるよう、基礎・基本の定着を図り確かな学力を習得させるとともに、地域の特性を生かした体験活動を充実し、個に応じたきめ細かな指導を推進してきた。</p> <p>自ら学ぶ意欲を身に付けた心豊かでたくましい子どもを育てるためには、学校支援員や介助員を活用したきめ細かな教育の展開や家庭や関係機関との連携による心の教育の充実、教職員の指導力向上などが求められている。</p>					
目指す成果	一人ひとりの個性を活かし、基礎・基本を徹底させ、思考力・表現力を伸ばす教育により、確かな学力と豊かな心を持ち、社会の変化に対応する、たくましく生きる児童生徒が育成されている。					
成果指標及び実績	指標	現状値	平成28年度	平成29年度	平成30年度 (教育基本計画目標値)	目標数値の説明
	千葉県標準学力検査の県平均との比較	小90% 中40% (H25)	小100% 中90%	小100% 中100%	小100% 中100%	2月に実施される学力検査の結果が県の平均に到達している小中学校の教科の割合
施策全体の達成度 (★★★)	★	目標を達成(100%) ★★★ 目標をほぼ達成(80%以上) ★★ 目標を達成していない ★ 現時点では判定できない ー	施策の事業費 (上段:最終予算) (下段:決算額)		31,157 千円	30,333 千円
達成度の理由	<ul style="list-style-type: none"> ・学力向上プラン推進事業の「わくわくドラム」については、参加する児童生徒数も年々増加しており、基礎学力と学習習慣の定着が向上している。 ・中学生の海外派遣事業は、事前学習を充実させることで生徒の学習意欲を高めることができ、事後の報告会では事業の成果を十分に発揮した発表ができた。 ・町雇用の学校支援教員、スクールカウンセラーについては、概ね各小学校の要望に応じた配置ができており、教育支援センター事業も効果を上げています。 ・就学相談についても丁寧な面談を行い、成果を上げることができた。 ・中学校の学力検査においては、基礎学力の定着が図られ、目標値に近づくことができた。 					
設定成果指標以外に現れた成果の説明	栄町学習道場(サタデーわくドラ、サマーわくドラ、ウインターわくドラ)の参加者が年々増加し、児童生徒の積極的な学力向上への意欲及び取り組みが見られる。					
外部環境の変化や住民ニーズの変化など、今後、課題と対応が予測されるもの	<ul style="list-style-type: none"> ・教職員のモラルアップに対する取組 ・学習環境と教員の「授業力」の向上 ・特別支援教育に関するニーズの高まりときめ細かな対応 ・スクールカウンセラーの必要性の高まり 					
住民との協働や他課の事業との連携	・月1回、要保護児童に関する情報交換を、福祉・子ども課、生涯学習課と行った。					

2. 事務事業の取り組み

(単位:千円)

事務事業名	平成29年度の取組実績	事業の評価(取組の課題及び今後の課題への対応)	事業費
① 学力向上プラン推進事業	<ul style="list-style-type: none"> ・授業改善推進業務 11月の学力パワーアップ総合月間に全校で実践活動を実施した。 ・栄町学力向上推進事業 学力スタンダードを活用した取組においては、児童・生徒の漢字・計算の基本的技能の向上に寄与し、千葉県標準学力テストにおいても、前年度の数値を上回るものが多く見られた。 ・栄町学習道場(わくわくドラム)事業 ①7月～8月の夏季休業中、「基礎学力充実コース(14回)」、12月の冬季休業中、「基礎学力充実コース(2回)」を実施し、長期休業中の児童・生徒の家庭学習の習慣づけに寄与するとともに、基礎基本の充実、探究的学習への意欲づけを図ることができた。 ②年間を通して、「サタデーわくドラ」として栄町学習道場を隔週土曜日に開催し(年間全18回)、基礎基本の充実を図ることができた。 	【取組への課題】 <ul style="list-style-type: none"> ・学年、学校により、学力テストの県平均を上回っていない教科がある。 ・小中連携による実効性のある授業改善研修を一層推進する。 ・学習指導要領等の改定に伴い、学力スタンダードも改定していく必要がある。 	H27 決算 1,315
			H28 決算 1,100
			H29 予算 1,275
			H29 決算 1,242
② 国際化に対応した人間教育事業	<ul style="list-style-type: none"> ・小・中学校外国語教育推進業務 小・中学校に外国語指導助手(ALT)を配置し、小学校外国語活動及び中学校英語指導の支援を行った。 ・栄町元気事業支援日本食研基金中学生海外派遣事業 国際理解教育の推進のため、町内の中学生(12名)をオーストラリア・メルボルン州へ派遣し、現地校での語学研修とホームステイ体験を行った。 ・英語検定助成事業 中学校卒業時に英検3級以上の英語力を身に付けていることを目標とし、年間1回受験料の全額助成を行った。 	【課題を踏まえ今後の対応】 <ul style="list-style-type: none"> ・小学校外国語活動及び英語の早期実施を見据え、小学校教職員研修の充実と外国人指導員の配置が急務である。 ・国際理解教育を更に推進するため海外派遣事業に参加した中学生が、現地の方と継続して交流が持てるような工夫が必要となる。 ・東京オリンピック・パラリンピック開催年の2020年に向け、国の設定する目標「中学3年生の半数が英検3級相当の英語力を身に付ける」の達成に向けて、具体的な対策を講じる必要がある。 	H27 決算 7,048
			H28 決算 9,762
			H29 予算 10,553
			H29 決算 10,371

③ 個に応じた授業改善推進事業	<ul style="list-style-type: none"> ・指導法改善推進業務 小学校4校に学校支援教員を配置した。 ・特別支援教育整備業務 小学校3校、中学校1校に介助員を配置した。 ・教育支援委員会運営業務 教育支援委員会を開催し、答申により適正な就学指導を行った。 ・国立政策研究所よりアクティブラーニングによる算数の研究指定を受けた、竜角寺台小学校への支援を行った。 	<p>【取組への課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年々特別な支援を必要とする児童生徒が増えていることから、就学相談・就学指導を適切に行うと共に、介助員の増員についても検討する。 ・インクルーシブ教育システム構築のための研修を推進し、どの児童生徒にとってもわかりやすい授業づくりをめざす。 ・町内教職員の指導力向上のため、小・小、小・中連携を拡大していく。 	H27 決算	12,725
		<p>【課題を踏まえ今後の対応】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保護者の意向を踏まえ、相談業務、就学指導について適切に対応していく。 また、学校、教育委員会の役割を明確化するとともに、特別支援学校も含めた3者間の連携を密にし、児童生徒の状況に応じた就学支援を行っていく。 ・小中体連の指定を受けている安食台小学校及び千葉県からの指定を受けている竜角寺台小学校への支援・指導を実施する。 	H29 予算	13,392
			H29 決算	12,933
④ 豊かな心・健やかな体づくり教育推進事業	<ul style="list-style-type: none"> ・教育相談体制整備業務 教育相談体制として教育相談員、小学校スクールカウンセラーを配置した。 ・教育支援センター運営事業 年間30日以上欠席の児童生徒は小学校12人、中学校18人おり、「ゆうがく館」に小学生2人、中学生4人が通所した。「ゆうがく館」には、学校適応専門官を配置し、不登校児童生徒への指導に当たるとともに、家庭訪問の実施、保護者面談等による連携を通して、高等学校からの学校生活への復帰と生活習慣の確立へとつなげた。また、指導員を配置し、不登校児童・生徒に対する指導、相談及び集団適応支援を行った。 ・生徒指導支援業務 生徒指導担当者を5回開催し情報の共有を図り、生徒指導の助言を行った。 ・学校人権・道徳教育推進業務 指導主事が学校に向き、道徳教育について指導・助言した。 ・体力向上・健康増進教育推進業務 毎年、新体カテストを実施し、食育の推進を行った。 ・学校図書館教育推進業務 学校図書館司書を各校に配置し整備を図った。 	<p>【取組への課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・図書館司書として継続して勤務できる専門性の高い人材確保が課題である。 ・不登校対策として学校とゆうがく館との情報共有や連携が課題である。 ・特別支援教育に対する専門性の向上及び保護者との連携を活かした教育実践が課題である。 	H27 決算	6,297
			H28 決算	5,253
		<p>【課題を踏まえ今後の対応】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童・生徒の学習意欲向上のため、学校図書館司書を継続して配置する。 ・SC小学校1校に人配置を継続する。 ・アウトリーチ型の長欠児童生徒対策を検討する。 ・不登校対策にかかる専門員の配置について検討する。 ・ゆうがく館の土曜日開館による週5開館体制を検討する。 	H29 予算	5,362
⑤ 学校教育を担う人材の育成支援事業	<ul style="list-style-type: none"> ・教職員研修支援業務 各学校の校内研修会の開催を支援をした。 教職員の資質向上支援のため、各種教職員の所属する専門性を高める研修会の負担金の補助を行い、教育課題に対応できるよう各種研修会を開催し、資質向上に努めた。 	<p>【取組への課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教職員の不祥事を根絶するための研修会の在り方について、当事者意識が持てるよう考慮する必要がある。 	H27 決算	539
			H28 決算	566
		<p>【課題を踏まえ今後の対応】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・OJTや研修を充実させ、教職員の資質向上を図る。 ・毎月の教頭会議においてモラルアップ研修を取り入れると共に、指導法の研修を行うことで職員への指導力を高めていく。 	H29 予算	575
合 計			H29 決算	520
			H27 決算	27,924
			H28 決算	29,913
			H29 予算	31,157
	H29 決算	30,333		

施策評価シート

1. 施策の情報整理

施策名		生涯学習資料の充実				
現状と課題		<ul style="list-style-type: none"> ・町民一人ひとりが自分にあった主体的な学習活動を継続して行うためには、様々な知識や情報が適切に入手できるような環境整備が求められており、本町の学習拠点であるふれあいプラザ内図書室は重要な役割を担っている。 ・地域の課題解決や生活上の問題解決に必要な情報を町民ニーズを捉えながら提供していく必要がある。 ・学習活動が様々な場所・方法によって実施されていることから、多様な関係者・関係機関が連携しネットワークを効果的に構築するための仕組みづくりを行う必要がある。 				
施策の情報整理	目指す成果	図書資料や情報メディア等を活用して、町民は新しい知識・技術の習得や地域課題の解決などのため、主体的に学習を行っている。				
	成果指標及び実績	指標	現状値	平成28年度	平成29年度	平成30年度 (教育振興基本計画目標値)
		図書室利用者数	16,096人 (H25)	16,456人 17,637人	16,576人 18,007人	16,696人
	施策全体の達成度 (★★★)	★★★	目標を達成(100%) ★★★ 目標をほぼ達成(80%以上) ★★ 目標を達成していない ★ 現時点では判定できない —	施策の事業費 (上段:最終予算) (下段:決算額)		3,590 千円 3,582 千円
	達成度の理由	貸出冊数は利用者按比例増加し、インターネット利用者数も年々増加し、図書室利用者数は、年度目標値をクリア出来ている。一方では、遠方地区の児童の脚の問題や、図書室のスペースの問題など、依然として課題はあるものの、インターネットを活用した検索・予約システムの導入について準備を進めたことから、総合的には「達成」と判断した。				
	設定成果指標以外に現れた成果の説明	<ul style="list-style-type: none"> ・学校で取り組んでいる「朝の読書タイム」の効果で小中学生の貸出しが伸びてきている。 ・竜角寺台小や布鎌小の児童は、ふれあい図書室を利用するには移動の問題があるため、学校への団体貸出しを推進していくことや、インターネット検索や予約が出来るようにする等の利用促進を検討していく必要がある。 ・中学生から大学生の利用が少ないことから、その世代の図書の充実が必要である。 ・本の読み聞かせや、子供映画会については、内容が固定化してきており、内容の見直しが必要となってきた。 				
外部環境の変化や住民ニーズの変化など、今後、課題と対応が予測されるもの	<ul style="list-style-type: none"> ・レファレンスサービス(調べ物の手伝い)の充実と利用の促進 「地域や住民にとって役立つ図書室」となり、地域の発展に欠かせない施設としての存在意義の確立を目指すために、レファレンスサービスの充実と利用の促進を図ることはもとより、地域の課題解決や生活上の問題解決に必要な資料・情報を積極的に提供し、地域や町民の課題解決を支援していく。 ・児童サービスの充実 子どもの読書活動や学習活動を支援する観点から、図書室ボランティアとの連携を深めていくとともに、地域格差のある学校図書館への支援を積極的に行っていく。 ・成果指標である図書室利用者数については、平成31年度からの第5次総合計画策定時に目標設定を上げ、利用者数を増やすために先進地を参考としながら、取り組んでいく。 					
住民との協働や他課の事業との連携	子どもたちが絵本・おはなし・映画に親しみ、心豊かな感性を育みながら読書に慣れ親しむよう、図書室ボランティア(おはなしの会・人形劇パレット)や映写ボランティアと連携し、おはなし会、人形劇や子ども映画会などの読書普及活動を展開した。					

2. 事務事業の取り組み

(単位:千円)

事務事業名	平成29年度の取組実績	事業の評価(取組の課題及び今後の課題への対応)	事業費
① 図書室管理運営事業	生活関連本を中心に蔵書を充実させたほか、学校に調べ学習や朝読書用の本の貸出を行うとともに、学校図書館司書を対象としたスキルアップ研修会を開催し、子どもたちの読書活動の支援に努めた。 ○レファレンスを含む窓口サービス業務の充実(年間開室日数:285日) ○蔵書整備業務(購入626冊/寄贈511冊) ○学校貸出し2,732冊	【取組への課題】 年代別の利用状況を見ると、13歳から22歳の利用が圧倒的に少なく、これらの世代の読書活動を普及させる方策が必要となっている。	H27 決算 3,621 H28 決算 4,010
		【課題を踏まえ今後の対応】 千葉県公立学校教職員互助会より県内図書館等への学校図書支援用図書の寄贈事業の対象となっており、学校司書からの要望も聴きながら選定し、ヤングアダルトコーナーを中心とした蔵書の充実を図っていく。	H29 予算 3,590 H29 決算 3,582
		【取組への課題】 読書教育関連事業が固定化してきており、新たな読書体験活動を深めていく必要がある。	H27 決算 0 H28 決算 0
		【課題を踏まえ今後の対応】 読書週間を活用して、学校等と連携した新しい図書の普及啓発活動に取り組み、各学校への貸出を推進していく。 平成29年度より発行している読書手帳を継続して発行し、読書記録の管理と読書意欲の向上を図っていく。	H29 予算 0 H29 決算 0
② 読書教育事業	図書ボランティアによる本の読み聞かせ会、おはなし会、人形劇公演、子ども映画会を開催し、子どもたちが読書の楽しさに気づききっかけをつくり、読書体験を深めるようにした。(延べ参加者409人)また、学校図書館司書を対象としたスキルアップ研修会を3回開催し、学校における読書環境の整備を支援した。	【取組への課題】 読書教育関連事業が固定化してきており、新たな読書体験活動を深めていく必要がある。	H27 決算 0 H28 決算 0
		【課題を踏まえ今後の対応】 読書週間を活用して、学校等と連携した新しい図書の普及啓発活動に取り組み、各学校への貸出を推進していく。 平成29年度より発行している読書手帳を継続して発行し、読書記録の管理と読書意欲の向上を図っていく。	H29 予算 0 H29 決算 0
		【取組への課題】 読書教育関連事業が固定化してきており、新たな読書体験活動を深めていく必要がある。	H27 決算 0 H28 決算 0
		【課題を踏まえ今後の対応】 読書週間を活用して、学校等と連携した新しい図書の普及啓発活動に取り組み、各学校への貸出を推進していく。 平成29年度より発行している読書手帳を継続して発行し、読書記録の管理と読書意欲の向上を図っていく。	H29 予算 0 H29 決算 0
合計			H27 決算 3,621 H28 決算 4,010 H29 予算 3,590 H29 決算 3,582

以上です。よろしくお願いいたします。

弘海委員：

特色ある学校づくりの支援の評価が、平成28年度は計画目標値が95%で達成値が88%となっていて星が3つになっています。平成29年度は計画目標値が95%で達成値が91%となっています。内容的にあまり変わらないと思いますので星が3つの評価でよいと思います。

アンケートなので厳しい結果になっていると思いますが、昨年と同様に扱っていいと思います。

教育総務課長：

機械的に、目標を達成した場合は100%として星3つとしていますが、それ以外はなりませんのでそのような評価となりました。今貴重な意見をいただき委員の皆様も同意されている様子でございますので、星3つの評価に変更させていただき、学識経験者によります評価の際に説明させていただきます。

議長中島委員：

きめ細かな学校教育の推進についてですが、残念なことに星が1つとなっていますがこれの原因はどのようなものでしょうか。

学校教育課長

多種多様な事業を行っている施策の評価を標準学力テストによる結果で行うこととしていますので、目標の達成率が下がって星1つとなってしまっています。

議長中島委員

指標の設定の工夫が必要な気がします。

教育総務課長

平成30年度までは、計画に記載されていることから指標はこのまま続けていかなければなりません。これから、次期5カ年計画においては、指標についてしっかりとやっている事業と結びつくように変えていきたいと思っております。

大久保委員：

平均値に基づくテストの点数を評価することに疑念を感じています。例えばクラスの中に子どもが30人いて4人不登校の子がいる場合、不登校専門官によってやっと3人の子どもが登校するようになった。不登校が数年続いていたためテストを行ったが、数年もの間授業を受けていないので点数がよくない。そうすると平均点がすごく下がることになる。そうなってくるとひどい話だがテストを受けない方がよいといった意見もでてくる。なので、実態を知らないで正しい評価にならない。

わくドラなどを通じて、子ども達を見ていますが、かなり子ども達の学力は上がっているように感じます。この施策は、向上プラン推進事業、国際化に対応した人間教育事業、豊かな心、健やかな体力づくり教育推進事業などいろいろな事業を行っているもので、事業全体から見て、よく実施していると思っています。

石川委員：

生涯学習資料の充実ですが、指標が利用者数で評価が3星になっていますが、私もそうだと思います。というのは、窓口にいる方がすごくよい方で大変知識があり感じもよくて、また借りに来たい。何を借りよう。次回は何を借りに来ようかというような気持ちにさせてくれるようなスタッフがいらっしゃいます。

図書室というのは、本が置いてあればそれでよいというものではなくて、そこにいる人がとても大事だと思います。ハード面の充実も大切ですが、ふれプラの図書室は大型の図書館にない人と人が触れ合えるような感じのよい図書室です。これからも、もっとよい図書室になって欲しいと期待しています。

9 教育長閉会宣言